主人公

上尾市立瓦葺中学校　１学年通信

令和４年１２月１日 発行　　第８号

2学期も終盤、上級生になる気持ちの準備を

合唱祭を終えて、１か月が過ぎようとしています。およそ１か月間にわたって取り組んできた集大成としての合唱祭でしたが、立派に発表を終えることができました。合唱祭後に書いた感想には、さまざまな思いがつづられていました。一生懸命取り組んだからこその達成感や楽しさ、もっとできたはずではないかという悔しさ、クラスの成長を自分たちで実感できたうれしさ。行事だからこそ学べることもたくさんありました。

行事を終えた“今”、行事が日々の中でどれくらい生きているでしょうか。合唱祭で、教頭先生からいただいた講評を覚えていますか。

「合唱の練習を通して、クラスの中でどんな関わり方ができたか、一人一人の思いや願いを大切にできたのか、学級としての集団のまとまりをつくりあげることができたのか、こうしたことを大切にしてほしい。そして、学年がひとつになって、今後の学校生活につなげていってほしい。」

行事はあくまで日常生活の延長線上にあるもの。行事をよいものにするためには、その過程にある日々の積み重ねが大切です。これからスキー体験教室に向かって準備が本格化しますが、それまでの過程、それまでの日々を大切にしていこう。

そして、スキー体験教室を終えれば、あっという間に上級生になります。誇れる上級生、誇れる学年になれるよう、進級への気持ちの準備もしていこう。

「合唱祭を終えて」　生徒の感想から（一部抜粋）

〇私は、パートに分かれて練習することが好きでした。なぜなら友達とアカペラで歌い合い、歌うことに少し自信を持てたからです。みんなで合わせて歌うことも好きでした。なぜなら、とても少しずつですが成長を感じることができたからです。

〇最初のほうは、自分も心配になるほど、声が出ていなかった。ですが、一人一人が勇気を出し、主人公になろうという思いから、少しずつ成長していった。そのおかげで、先生から、同級生から、すごくほめられるようになり、みんなの自信がついてきた。この機会で深まった団結力を生かして、どんなに大変なことも、みんなと乗り越えていきたい。

〇合唱祭ですごく最高のステージでできたと思います。優秀賞がとれずに本当に悔しかったです。そうやって悔しいと思えるのは、毎日毎日練習をみんなでやっていたからだと思います。みんなの声は、空を突き破る声のように、すばらしい合唱です。本当にやってよかったと思えた合唱祭でした。

〇優秀賞をとれなかった原因は、協力すること、思い合うことができなく、士気が落ちたことだと思います。文句ばかり、しゃべっているばかりですごく不快でした。文句を言わない、気にさわるような言い方をしないようにすればよかったと、反省しかないです。

〇放課後練習では、みんなで協力することが、体育祭と比べてできていなかったと思います。なので今後は、体育祭のときのように、みんなで協力をしながら生活をしていきたいなと思います。

〇最初は声もあまり出ていなく、そろえるのがとても難しかったけど、実行委員やパートリーダーのアドバイスのもと、みんなで一致団結し、きれいにそろえることができました。合唱祭で身に付き、学んだことをスキー教室でも発揮し、みんなが楽しいと思えた合唱より、2倍、3倍楽しめるような思い出にしていきたい。

学級委員会の取組から

学級委員会では、学年・学級をよりよくする取り組みとして、毎時間の授業の反省点を教科の先生にお伺いしています。教科ごとに変わるクラスの持ち味や課題を明確にし、意識して授業に臨めるよう、呼びかけを行っています。

○個人の活動はよく集中している。 ○教え合いはよくできている。
▲家庭科や理科の実験など、まわりと話せる状況になると私語が増える。
▲教科や日によって、取り組みに差がある。

○学活や総合、理科、国語はよく取り組めている。
▲保体や美術、音楽など、移動教室での私語が多い。
▲道徳、数学、英語が静かすぎる。

○声かけは積極的にしている。 ○授業中の意見がよく出る。
○教え合いがよくできている。 ▲授業中、無駄な私語がある。
▲忘れ物や、授業中にロッカーに物を取りに行く人が多い。

○5教科の授業はわりと静かに受けられている。
▲教科によって余計な発言が増える。▲移動教室になると、騒がしくなる。

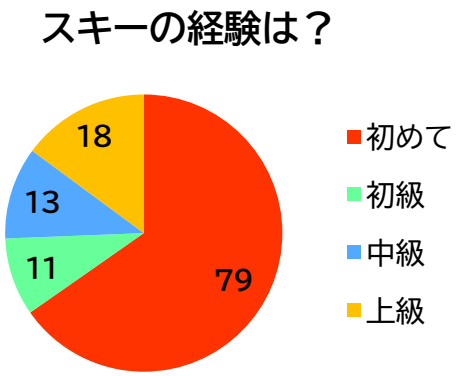
体育の長距離走の授業では、つらい中でも学年全体としてよく頑張っている姿が見られます。自分たちの手で、授業をよりよい方向へ充実させていこう。

スキー体験教室への準備が進んでいます

10月下旬から、各クラスから選出された４人と生徒会役員となった３名が実行委員として活動を開始し、合唱祭後から持ち物や服装、生活のきまりを一つ一つ自分たちで検討しながら、ルールづくりをしてきました。そうして決まった生活のきまりを、先日各学級にて討議を行い、全員が納得できる形へと進めています。

出来上がった生活や持ち物のきまりは、15日の説明会にて保護者の方にも説明をします。食事やアレルギー対応、参加申し込みなどについても、この説明会でお伝えします。

先日の三者面談の際に確認しましたスキー経験の有無を集計すると、ほとんどの人が初めてであることがわかりました。初めての体験、不安と楽しみが入り混じる中で大切なこと、それは合唱祭とも通ずるものがあります。



「学年、クラスの仲間とどんな関わり方ができたか」
「一人一人の思いや願いを大切にできたのか」
「学年としての集団のまとまりをつくりあげることができたか」

スローガンにある「Happy Smile」の達成に向けてできることを考えていこう。

【スキー体験教室実行委員】（敬称略）